

平成28年2月分 愛媛県の販売電力量について

需要の概要

平成28年2月の販売電力量は、7億8千4百万kWh時、前年比100.9%（うるう年の影響を補正すると99.1%）となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月分の検針期間に含まれる1月中下旬の気温が低めに推移したことによる暖房需要の増はあったものの、省エネ機器の普及による影響などから前年比99.8%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、2月上旬の高気温による暖房需要の減はあったものの、うるう年の影響などから、前年比101.3%（うるう年の影響を補正すると97.8%）となった。

産業用の「大口電力」は、化学などが前年を上回ったことに加え、うるう年の影響などから、前年比103.2%（うるう年の影響を補正すると99.6%）となった。

うるう年の影響について

・特定規模需要は、2月29日が2月分の検針期間に含まれるため、昨年より1日多くなり、この影響が含まれている。

・電灯などの特定規模需要以外の需要は、2月分検針期間が1月の検針日～2月の検針日の前日までであるため、2月29日は3月分に含まれることとなり、2月分への影響はない。

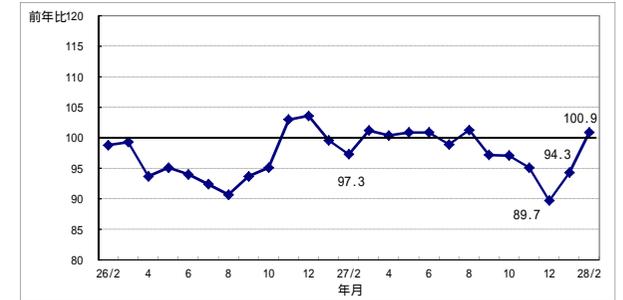
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	333	99.8
	電 力	46	96.5
	計	379	99.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	160	[97.8]101.3
	産業用電力	245	[99.3]102.8
	うち大口電力	184	[99.6]103.2
	計	405	[98.7]102.2
販売電力量 計		784	[99.1]100.9

注：[]内はうるう年の影響を補正した前年比

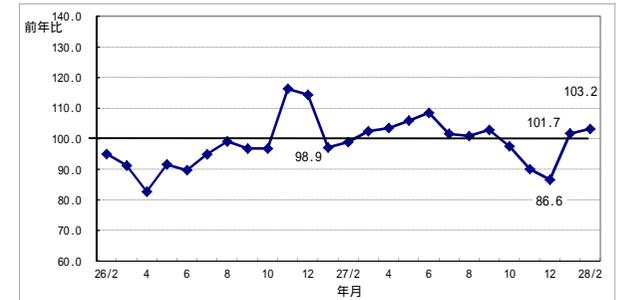
(本年2月分の電力量に28/29を乗じた値と昨年2月分の電力量を比較し算出)

	電力量	前年比		
		28/2月	28/1月	27/12月
食料品	10.5	94.3	99.5	94.9
繊維	21.4	102.4	113.5	112.0
紙・パルプ	48.0	103.1	106.1	63.4
化学	18.0	109.3	102.7	103.4
鉄鋼	15.9	103.9	98.9	99.3
機械	38.1	104.9	95.8	95.8
うち電気機械	(21.9)	(99.6)	(91.2)	(93.7)
その他	31.9	101.5	95.7	98.2
大口 計	183.8	103.2	101.7	86.6

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口販売電力量の前年比の推移



(参考3) 松山市の平均気温

	H28年1月				H28年2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績	8.8	5.5	5.7	6.6	6.1	8.5	7.1	7.2
平年差	2.3	0.6	0.3	0.6	0.4	1.8	0.0	0.7
前年差	2.4	1.3	1.2	0.3	1.3	1.5	1.3	0.6